

【平成 17 年度専修学校を活用した若者の自律・挑戦支援事業】

| | | | |
|-------|---|---------|-------------------------|
| 事業名 | 専門学校における複数の企業との連携による日本版デュアルシステムコースの開発研究 | | |
| 学校法人名 | 鶴学園 | | |
| 学校名 | 広島工業大学専門学校 | | |
| 代表者 | 理事長 鶴 衛 | 担当者・連絡先 | 林 哲也 TEL : 082-295-5111 |

＜事業の概要＞

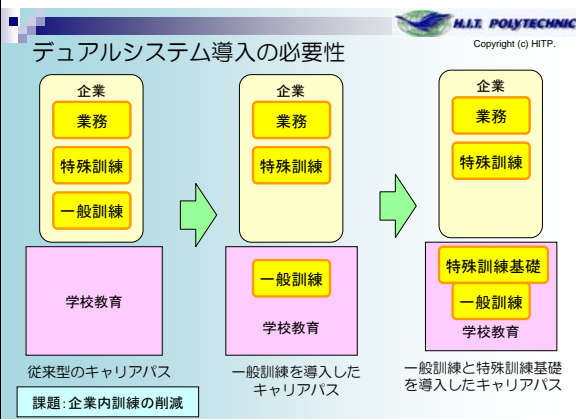
昨年度のテーマである「専門学校と IT 系企業の連携による日本版デュアルシステム教育プログラムの研究開発」の成果と課題をもとに、多様な学生のニーズに対応できるよう、複数の IT 系企業と連携したデュアルシステムコース（2 年制）の開発研究に取り組んだ。また、IT 系以外の分野（電気・機械・建築・測量・音響映像）についても、その可能性の調査研究を行った。

＜成果＞

ここでは、NTT ネオメイトグループとの連携による、デュアルシステムのあり方についての研究成果を紹介する。

1. 一般訓練と特殊訓練

企業内訓練には、一般訓練と特殊訓練がある。一般訓練は社会人マナーやコミュニケーション能力など、企業で働く上で備えておくべきスキルである。特殊訓練はその企業が必要とする、業務知識や企業特有の業務遂行能力ある。しかし、



今日、多くの企業では社内教育をほとんど実施できない状況にある。こうした教育を、学校と企業が連携することで、企業が求める即戦力の人材を育成することが可能となる。ここにデュアルシステムの必要性がある。

2. デュアルシステムに期待すること（企業、学生、学校調査による）

| | 期待できる | 課題 |
|----|-----------------------|-------------------------------|
| 企業 | 即戦力の人材を採用できる | 学生の希望に応えにくい |
| 学生 | 職場の雰囲気がわかる 実体験ができる | 実習（就業）に耐えられるか不安 |
| 学校 | 理論を実践できる 社会人意識の醸成 | 認定科目の制限、単位認定 職業観以前の資質養成が必要 |

3. デュアルシステムコースの開設

NTT ネオメイトグループとの実証講座を通じて、平成 19 年度、新学科を設置するものとして次の教育カリキュラムを検討した。

- ① 設置学科・コース WEB クリエータ学科 (WEB アドミニストレータコース)
- ② 課程：文化・教養専門課程 3 年制
- ③ 連携企業 NTT ネオメイトグループ
- ④ カリキュラム概要

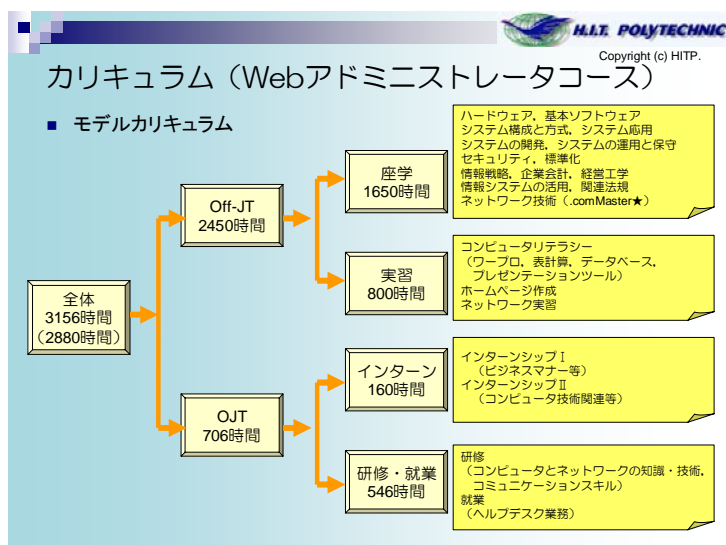
| | 学校での授業 | 企業実習等 |
|------|-----------------------------------|-------------------------------|
| 1 年次 | コンピュータリテラシー コンピュータ基礎等 | インターンシップ 1 (2 週間) |
| 2 年次 | ネットワーク コミュニケーション プログラミング基礎等 | インターンシップ 2 (2 週間) |
| 3 年次 | ネットワーク応用 セキュリティ等 | デュアルシステム (3 ヶ月～1 年), 研究 活動 |

④ 特色

NTT ネオメイトグループにそのまま就労することも可能。

⑤ 授業時間とモデルカリキュラム

図は、学校での学習時間と企業での実習時間を合わせ、総時間数を 3,156 時間とした場合の内訳時間数である。



4. まとめ

デュアルシステムは、学校と企業と異なる業態を持つ機関が連携する、きわめて困難な教育プログラムである。学校は知識・技術と人間性の教育を目的とし、企業は人材を使っていかに利益を上げるかを目的としているからである。

しかし、社会経済を支えるのは人材であり、学校も企業も人材を育成し活用する点においては共通の認識がある。今日の社会が、ますます高度化複雑化して行く状況にあっては、理論教育と実務教育 (体験的教育) の両方が必要であり、デュアルシステムの充実と発展が不可欠であると考えられる。